



理事長 岡部 憲昭

皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から遠賀信用金庫に対し、格別のご愛顧、お引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

今年もメチャくんファミリーが、遠賀信用金庫の業績や活動について分かり易くご紹介するディスクロージャー誌『ONSHIN REPORT 2020』が出来上がりました。ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、我が国経済は、長期間にわたり緩やかな景気回復を続けていましたが、米中貿易摩擦、日韓問題の悪化など不安定な国際情勢に加え、年初来の新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、一転して厳しい景気後退局面に直面しております。

当地域におきましても、新型コロナウイルスの影響で、飲食業、宿泊業、観光業をはじめ多くの中小企業の皆さまや住民の皆さまに大きなダメージが出ています。そのような中

で、遠賀信用金庫は、お客さまへのご支援を最優先課題として全力で取り組んでいるところです。

令和元年度は、遠賀信用金庫にとって創立70周年という節目の年でありました。70年間、当金庫をお支えいただき、育てていただいた地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、いろいろなイベントを実施してまいりました。4月の飛鳥IIクルーズに始まり、コンサート、感謝の集い、桂文珍さんの講演会、少年スポーツ大会の主催・共催、図書館への図書の寄贈など、慌ただしい中にも充実した1年間でした。

金庫の業務につきましても、比較的順調に推移し、九州北部信用金庫協会において毎年度実施しております「優良金庫表彰」におきまして、取引先の事業所数の増加や収益力の高さ等が評価されて、令和元年度は13金庫の中で堂々の第1位を獲得いたしました。

しかしながら、令和元年度の決算におきましては、順調な業績を反映して、本業の収益は昨年度並みを確保しましたが、将来の貸出金の毀損に備える引当金の積み増しを約11億円とかつてない規模で実施した結果、最終利益は前年度から半減して5億円程度に止まりました。この引当金の大幅な積み増し、新型コロナウイルスの影響による経済の低迷が今後とも続くことを想定して、お客さまへの支援を積極的に行うための備えを厚くするために実施したものです。

このような決算結果に加えまして、新型コロナウイルスの影響による先行きの収益環境の悪化も想定されますことから、会員の皆さまへの配当は、昨年度の8%から6%に変更させていただきました。何とぞ、ご理解をいただきたいと存じます。

なお、金融機関の健全性を示す自己資本比率は13.91%と、国が定める基準(4%)を大きく上回っております。

現下の最大の課題は、新型コロナウイルスへの対応であります。新型コロナウイルスによるお客さまへの影響は、今後さらに裾野を拡大し、影響度も深刻化することも予想されます。こんな時こそ、遠賀信用金庫の出番と心得、「スモール イズ ナイス」の矜持を胸に、役職員一丸となって地域の皆さまを全力でお支える覚悟です。

今後とも、遠賀信用金庫に対し、格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げ、皆さまのご繁栄、ご健勝を心よりお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

令和2年7月